

第1110回 市売市況表

(令和7年7月9日実施)



長野県森林組合連合会 伊那木材センター

TEL0265-72-2684

Fax0265-76-8759

○ 強気配 — 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	安値 (円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14	14,000	13,000	6,000	—	3m 24cm上に需要あり
		直	16~22	19,000	17,000	6,000	—	
		直	24~30	22,000	17,000	6,000	○	
	4.0	直	14~16	17,000	13,000	10,000	—	4m土台取りを中心に需要あり
		直	18~22	20,000	19,000	10,000	○	
		直	24~28	21,000	19,000	10,000	○	
		直	30上	21,000	18,000	10,000	—	
		元玉	26上	43,000	27,000	13,000	—	時期が悪く、価格伸び悩み
	6.0	直	16~20	28,000	23,000	17,000	—	直造材でお願い
すぎ	3.0	直	14~16	10,000	7,000	6,000	—	3m柱取りに需要あり
		直	18~22	14,000	12,000	6,000	○	
	4.0	込	20上	13,000	10,000	7,000	○	直造材でお願い
		直	24~28	17,000	12,000	10,000	○	
		直	30上	17,000	12,000	7,000	○	大径材(40cm上) 需要低調
からまつ	4.0	込	18上	25,000	17,000	6,000	○	需要回復
きり	0.4~4.0	込	13~48	70,000	24,500	4,500	—	時期が悪く、価格伸び悩み
なら	2.4~4.0	込	2~52	52,000	19,500	8,000	—	
もみ	2.4~4.0	込	28~64	24,500	14,500	6,000	—	

出品量 949 m³

販売量 948 m³

落札率 100 %

買い方 27 社

今回は、出品量こそ少なかったものの、ヒノキの元玉やモミの大径材等、良材が多く賑やかな市売りとなりました。

製材用丸太について、ヒノキは3.0mの柱取りがわずかに需要回復傾向となりました。3.0mの24cm上と4.0mの土台取りは、相変わらず需要がありますので、引き続き出品をお願いします。

スギは需要が増えておりますので、積極的な出品をお願いします。直造材を基本とし、18~22cmは3.0m、24cm上は4.0mを主体にお願いします。

カラマツは継続的な需要が見込まれますので、直造材での出品をお願いします。今後も需要動向に注意しながら、造材方法等ご相談させていただきますのでよろしくお願いいたします。

合板用丸太について、製品販売は順調ではないものの、全体的な原木不足により、しばらくの間の需要は見込めそうです。ただ、先行きは不透明ですので、引き続き直造材を心掛けてください。

広葉樹については、時期が悪くなり、良材であっても価格が伸び悩みました。極力、秋以降の伐採に変更をお願いします。もし、伐採される場合は、伐採後早めのご出品をお願いいたします。

【お願い】令和7年4月1日からの「クリーンウッド法」施行に伴い、出荷の際には合法的に伐採された木材であることを証明する書類(伐採届、経営計画認定書 等)の提出をお願いいたします。
(安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をお願いします。)

次回 令和7年8月6日(水)